



日本大学文学部国文学科  
日本語基礎演習 2

## はじめに

## 月9のヒロインからみる 方言ステレオタイプ

## 吹き替え作品での 関西弁の扱い方

## 漫画と実写化映画の方言

## 方言ステレオタイプの 反映の程度

## 漫画における 方言の扱われ方

## 少女漫画における 大阪方言

## 漫画における 広島弁キャラの ステレオタイプとの比較

## おわりに

 

# 漫画における 方言の扱われ方

## 6.4.方言スイッチキャラクターの比較・分析 (柏原大志)

地方を舞台とした漫画である『ばらかもん』『銀の匙』を調査対象とし、方言を状況によって使い分けるスイッチキャラクターを中心に比較・分析していく。取り上げる男女のスイッチキャラクターは比較や考察のしやすいキャラクターを選んでいる。

### 6.4.1.セリフリストによる比較・分析

セリフリストのデータをグラフ化し、比較していく。なお、セリフリスト自体は膨大すぎるため載せていない。

『ばらかもん』 喜怒哀楽



『銀の匙』 喜怒哀楽



『ばらかもん』の方言使用時の喜怒哀楽ですが、木戸浩志の総方言台詞数が10に対し、喜が1、怒・哀が共に0、楽が4、その他が5となった。山村美和の総方言台詞数が103に対し、喜が5、怒が11、哀が0、楽が14、その他が73となった。特徴的なのは木戸浩志が喜・楽の場合のみ出ているのに対し、山村美和の方では怒の割合も高く、それだけで男性キャラの総台詞数を超えている。両キャラともその他が最多で日常的に方言を使用していることが分かる。

『銀の匙』の方言使用時の喜怒哀楽ですが、駒場一郎の総方言台詞数が18に対し、喜・哀・楽が共に0、怒が2、その他が16となった。御影アキの総方言台詞数が1に対し、喜・怒・哀・その他が共に0、楽が1となった。『ばらかもん』に比べ方言台詞量は少ないが、方言が特定の感情に現れていることが分かる。

表4.具体的な台詞例

	キャラ	台詞	巻・ページ
台詞例1	駒場一郎	それよりこんな山奥で夜に行方不明って事でみんななまら心配してるべ！	2巻106p
台詞例2	御影アキ	その面倒くさがさがまた良いつしょ？	1巻76p
台詞例3	御影アキ	一人じゃできない競技なんだから馬の事も考えなきゃダメっしょ！！	5巻108p

実際に方言使用時の台詞に注目すると、駒場一郎は日常的に方言を使用していたが、しっかり感情とともに現れたのは台詞例1のように怒った時のみだった。会話相手との間に考えの違いや壁などが生じると方言が使用されている。台詞例2は1〜3巻で出て来た御影アキの唯一の方言台詞であるが、台詞量がありにも少なかったため、今回収集したデータには含まないが4・5巻にも方言台詞がないか探してみた。すると5巻に台詞例3のような怒った状態の台詞を見つけた。また同5巻に、御影アキ自身が普段は恥ずかしさから方言を話さないようにしているが、うっかり出てしまうことがあるという内容の会話を主人公としている。台詞例2、台詞例3はともに御影アキの好きな馬のことについて会話している場面であり、どちらも主人公に向けられたものである。ヒロインが主人公に素の部分を見せてしまっていることを考えると、方言がヒロインの属性的強調や方言萌えなどの役割を担っているのではと考える。また、学生キャラの方言使用割合は女性キャラよりも男性キャラの方が高かった。これは御影アキのような方言を使用することの恥ずかしさから、女性キャラの割合が低いのではないかと考えた。

### 6.4.2.考察・まとめ

今回は方言スイッチキャラクターに注目して調査を進めてきたが、二つの作品には違いを見て取ることができた。『ばらかもん』のキャラは特定の感情に吐出して方言が現れることはなかったが、『銀の匙』ではそれが現れていた点である。これは作者のキャラ立ちさせる意図のために、この様な結果になったのだと考察した。『ばらかもん』のキャラは性格・外見の時点で活発的・印象的であるのに対し、『銀の匙』のキャラには真面目や大人しい性格のキャラが多いことがその様に考察した理由である。

### → 6.1目的

### → 6.3.方言一貫キャラのステレオタイプの比較・分析 (榎本拓朗)